

## カーボン・オフセットと排出量取引に関する日英ワークショップ カーボン・オフセット報告

・環境省では、カーボン・オフセットの取組について、国際動向を踏まえながら一層の推進を図るため、2008 年 9 月に英国環境・食糧・農村地域省（DEFRA）（現：DECC）との間で、カーボン・オフセットに係る情報交換の協力強化に関する協力宣言文の締結を行いました。

・2010 年 3 月に、本宣言文に基づき、両国のカーボン・オフセットに関して情報交換を行うとともに、併せて排出量取引制度もテーマに取り上げ、共同ワークショップを開催いたしました。

・本イベントにおいては、印刷資料等の資材利用に当たり必要最低限の分量となるよう配慮し、事務局の移動も公共交通機関を可能な限り用い、また一般の参加の方々にもできるだけ公共交通機関をご利用いただき、ウォームビズにご協力をいただくよう呼びかけるなどの削減努力を行ったうえで、添付のとおりカーボン・オフセットを行いましたので、ご報告いたします。

### 1. イベント概要

イベント名 カーボン・オフセットと排出量取引に関する日英ワークショップ  
開催日時 2010 年 3 月 16 日（火）10:00～17:00  
開催場所 三田共用会議所 講堂  
主催 環境省

### 2. カーボン・オフセットの対象範囲（バウンダリ）

- 講師、パネリストの勤務地からイベント会場までの交通機関利用
- 事務局員の交通機関利用（イベント準備期間を含む）
- 会場利用による電力利用

### 3. 埋め合わせの内容

オフセット量：8 t （算定の詳細については別紙参照）  
クレジット種類：オフセット・クレジット（J-VER）  
プロジェクト名：長野県木質ペレットストーブの使用による J-VER プロジェクト

詳細は、別紙参照のこと。

## カーボン・オフセット報告 —詳細—

## イベント開催に係る温室効果ガス（GHG）排出量の算定

## 【カーボン・オフセットの対象範囲（バウンダリ）】

- 講師、パネリストの勤務地からイベント会場までの交通機関利用
- 事務局員の交通機関利用（イベント準備期間を含む）
- 会場利用による電力利用

## 【算定式】

飛行機（国際旅客）： 移動距離（成田-ロンドン）× 燃料消費率 × GHG 排出係数  
 （具体的な数値の根拠については、参考資料①参照）

旅客鉄道： 移動距離（最寄り駅間の距離） × 燃料消費率 × GHG 排出係数  
 （燃料消費率は参考資料②、GHG 排出係数は参考資料③参照）

会場： 電力消費量（kW）=建物全体の月別電力消費量（kW）×（イベント会場床面積／建物延べ床面積）×（イベント開催時間（h/月）／会場稼働時間（h/月））

（イベント開催時間は本イベントの実績。それ以外は類似の規模の会場実測値を使用）

## カーボン・オフセットと排出量取引に関する日英ワークショップ

（CO<sub>2</sub>換算）

GHG 排出源	CO <sub>2</sub> 排出量 (kgCO <sub>2</sub> )
基調講演者+パネリストの交通機関利用	
飛行機 <sup>1</sup>	6766.4
旅客鉄道 <sup>2</sup>	2.5
事務局の交通機関利用	
旅客鉄道	2.81
会場利用	
電力 <sup>3</sup>	362.01
合計	7133.72

## 【参考資料】

- ① ICAO（国際航空民間機関）、Carbon Emissions Calculator, Version 2, May, 2009
- ② カーボン・オフセットの対象活動から生じる GHG 排出量の算定方法ガイドライン ver. 1.1
- ③ 平成 20 年 12 月 19 日発表「平成 19 年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数」環境省

<sup>1</sup> 国際旅客

<sup>2</sup> JR 新幹線、JR 在来線、私鉄、地下鉄

<sup>3</sup> 本ワークショップ類似の会場における、冬季の電気使用量を用いて推計

## □クレジットタイプの説明

クレジット オフセット・クレジット (J-VER)

種 類 :

クレジットの調達 : 2010 年 3 月 26 日

クレジットの無効化 : 2010 年 3 月 26 日申請

プロジェクト情報 :

プロジェクト名 : 長野県木質ペレットストーブの使用による J-VER プロジェクト

プロジェクト実施国・地域 : 日本国 : 長野県

プロジェクトタイプ : 木質バイオマスによる化石燃料代替

プロジェクト概要 : 長野県産の木質ペレットをストーブ燃料として利用し、化石燃料を代替することにより二酸化炭素の排出削減を図り、それにより創出されるクレジットへの企業からの資金提供を、木質ペレットの利用者に還元する仕組みを構築し、未利用の間伐材等の森林資源の有効活用と地球温暖化防止策に資する森林整備を推進するとともに、民生部門での地球温暖化対策への理解を深めることを目的とする。

プロジェクト期間 : 2002 年 3 月 1 日 ~ 2013 年 3 月 31 日

プロジェクト全体の排出削減・吸収量 : 2008 年 4 月 ~ 2009 年 12 月認証済み発行量 217t-CO2

## □カーボン・オフセットとは

私たち人間の活動が原因である地球温暖化によって、現在地球上で、様々な分野で深刻な影響が生じています。温暖化の対策のひとつとして、注目をあつめているのが、自分の温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収量でオフセット(埋め合わせ)する、カーボン・オフセットという仕組みです。

詳細については、こちらをご参照ください。:

[http://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/carbon\\_offset.html](http://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/carbon_offset.html)

## □オフセット・クレジット (J-VER) とは

「オフセット・クレジット (J-VER)」とは、平成 20 年 11 月に環境省が創設したオフセット・クレジット (J-VER) 制度に基づいて認証・発行される、国内の温室効果ガスの排出削減量または吸収量を指します。カーボン・オフセット等の自主的な取組に活用が可能です。

詳細については、こちらをご参照ください。: <http://www.4cj.org/jver.html>